

キャリアチェンジ犬譲渡要綱

この要綱は、公益財団法人東日本盲導犬協会（以下、「協会」という。）が盲導犬に向いていないと判断した犬（キャリアチェンジ犬）の譲渡事項について定めるものである。

- ・ 飼育者が高齢である等、その他条件により飼育管理上困難が生じないと判断できる家庭であること。
- ・ 生涯、節度ある愛情を持って犬を飼育すること。
- ・ 室内において飼育すること（玄関内に小屋があり、1日中繋いだ状態も不可）。
- ・ 日常的に長時間（3～4時間以上）、犬に留守番をさせないこと。
- ・ 健康管理（フィラリアの予防・狂犬病等の予防接種・体重管理等）を適切に行うこと。
- ・ 第三者への譲渡、処分等を行わないこと。
- ・ 譲渡後も協会の助言を尊重すること。
- ・ ドックフード等の飼料費、各種予防接種等、又は病気などの治療にかかる医療費等は飼育者の負担とする。
- ・ 医療費等（去勢・避妊手術・予防接種）の負担金として、8万円以上の寄付が行えること。
- ・ 止むを得ない理由等で飼育が困難になるような問題が生じたときは、速やかに協会に連絡すること。
- ・ 犬が死亡したときは、速やかに協会に連絡すること。
- ・ 譲渡後、協会において犬の預かりは行わない。
- ・ 血統書の発行は行わない。
- ・ 本申し込みについて同居家族全員が同意していること。
- ・ 単身世帯でないこと。

附則

この要綱は、平成19年4月1日から施行する。

平成21年4月1日改正。

平成22年12月27日改正。

平成30年4月1日改正。

キャリアチェンジ犬オーナーについて

(盲導犬にならなかった犬の引き取りオーナー)

盲導犬になる犬は落ち着きと繊細さ、健康状態など総合的に判断しますので、すべての犬が盲導犬になるわけではありません。盲導犬になるのは10頭中2～3頭です。盲導犬にならなかった犬（キャリアチェンジ犬）はよき家庭犬として譲渡させていただいています。

犬を初めて飼う方でも安心して申し込んで頂けるように、担当の訓練士からしつけや健康管理について詳しい説明があります。また、これから先10年近く一緒に暮らすことになるわけですから、お互いを良く知るための期間として2週間のお試し期間を設けています。家族にアレルギー症状が出るなど、何らかの理由で犬との生活が困難であると判断した場合は、別のご家庭を探すこととなります。

キャリアチェンジの理由

訓練犬が盲導犬にならない理由は、健康面によるものと性格面によるものに大別されます：

健康面：白内障・関節の形成不全・内臓疾患・アレルギーなど

性格面：興奮しやすい・注意散漫・多くの運動量を要する・不安が強い・繊細すぎる・環境の変化に弱い・些細なことで吠えるなど

基本的な飼育条件

キャリアチェンジ犬オーナーとして登録して頂くには、以下の条件を満たしている必要があります。譲渡の際には契約書を取り交わし、約束された事柄が守られていない場合には犬の返還をお願いする場合があります。

1. 室内で飼育する事ができる

仔犬のころから室内で人と一緒に生活してきた犬ですから、外飼いには適応できません。テラスなどに入入りできるのは問題ありませんが、犬をテラスや玄関で寝起きさせないでください。

2. 留守がちでない

人と一緒にいる事が大好きな犬ですから、番犬のようにずっと1頭で過ごすのは不得意です。買い物などで留守番をさせる場合でも2～3時間を目安にしてください。

3. 最後まで責任を持って世話ができる

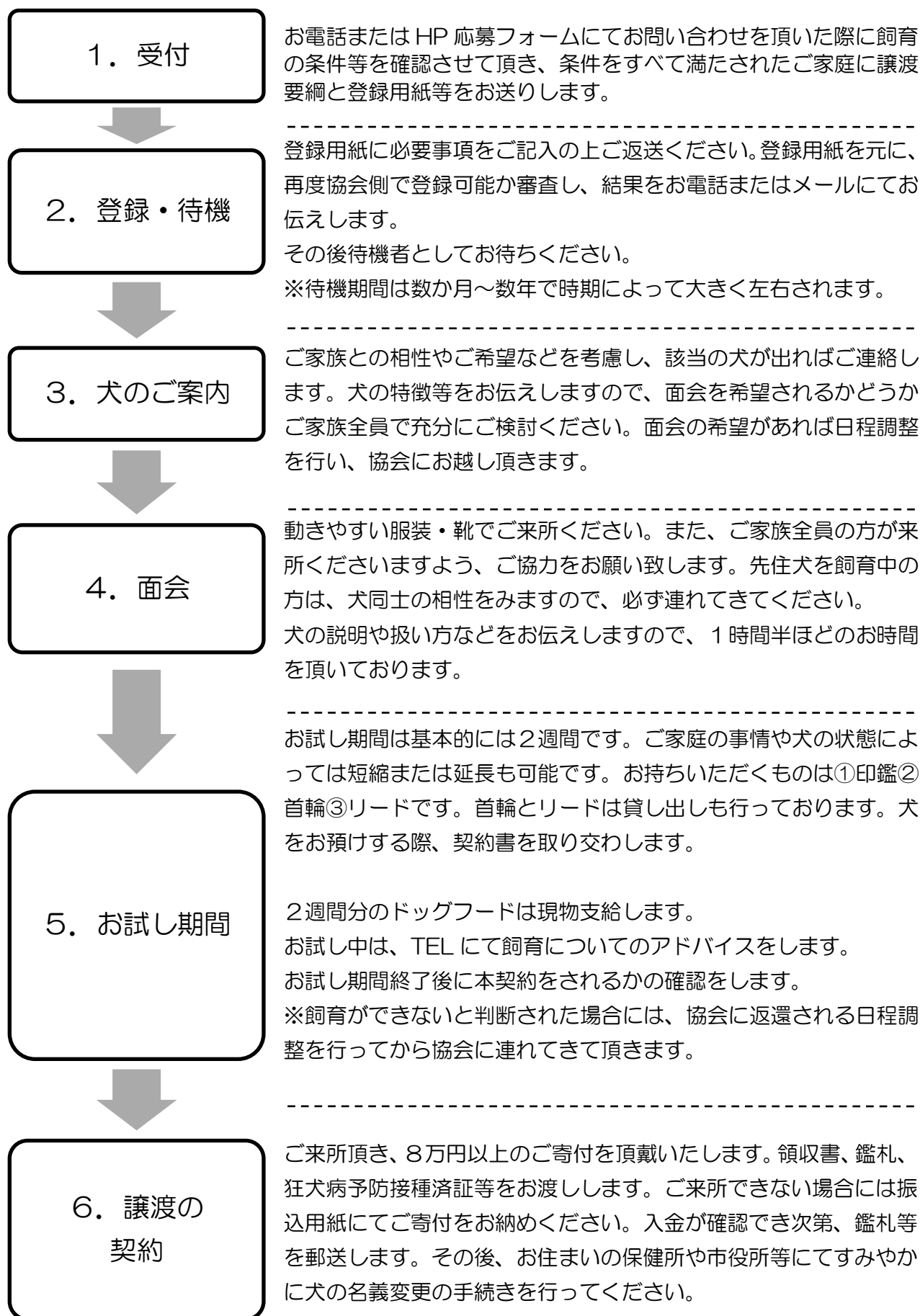
言うまでもありませんが、生き物と暮らす事はその命を引き受けるという事です。ラブラドルのような大型犬は長生きしても15年です。亡くなったら協会までご連絡をお願い致します。

4. 普段犬の世話をする方が65歳以上でないこと

大変申し訳ありませんが、65歳以上のみの世帯へのご紹介はいたしておりません。

将来介護が必要になった時、大型犬であるラブラドルを難なく抱きあげられるでしょうか？10年15年経った時の飼い主と犬の姿を思い浮かべて頂ければ、想像に難くないと思います。

キャリアチェンジ犬の譲渡契約の流れ



～犬を迎えるにあたって～

準備して頂きたいもの

- 寝る場所（ケージ・敷物など）→ケージは貸し出しも行ってあります。
- 食器：水飲み用、食事用のもの。
- リード（引き綱）：ナイロン製よりも革製をおすすめします。
- 首輪：首の絞まらないハーフチョークが良いでしょう。
- 犬用シャンプー、乾かすタオル：低刺激のものがおすすめ（2週間～1カ月に1度の目安）
- ブラシ（短毛種用）：皮膚を傷めないゴムブラシがおすすめ。（毎日行います。）
- ガーゼやタオル：歯みがきやグルーミングで使います。
- ドッグフード：今まで食べてきたフードまたは同ランクのもの。（2週間分はお分けします）
- 犬用おもちゃ：丈夫で犬が飲み込めないサイズのもの。

家での生活について

新しい環境に慣れるには早い犬でも2週間、時間がかかる犬は数ヶ月かかります。その間は吠えたり、トイレを失敗したりといろいろなトラブルが予想されます。犬が環境に慣れるには待つしかない部分もあるのですが、生活のメリハリをつけてやる事で解消する問題も多いです。例えば・・・

- 規則正しく散歩や遊びをする。：朝夕、30分ずつくらいの散歩が理想です。時間のない時や雨天時は、家の中でタオルの引っ張りっこを5分してあげるだけでも良いです。大事なものは継続する事です。※おもちゃは与えっぱなしではなく、普段は隠しておきます。
- 犬にかまえない時はケージをうまく使う：ケージとは、犬たちが仔犬の頃から自分の部屋として暮らしてきた、ちょっと大きめの段ボール箱くらいの大きさの犬の部屋です。ケージに入れることで目を離れた際に電気のコードをかじって感電する、おもちゃを誤飲する、というような事故を防ぐ事ができます。ラブラドルは何でも口に入れてみる癖がありますからケージをうまく利用してみてください。
- 留守番をさせる時は、その前に散歩や遊びで疲れさせる：息が整ったら休ませます。しばらくすると眠ってしまいます。メリハリをつけた生活をすると、犬も落ち着きやすくなります。
- 小さなお子さんが激しく遊ぶなど、犬が逃げたがっている時はケージに避難させてあげる。：ケージは犬の安全地帯なので、決して引きずり出したりしないで下さい。また、ケージを嫌がるようになるので、お仕置き部屋としては使わないでください。
- 犬の食事や排便のタイミングは、その家の生活のリズムに犬を合わせる形がかまいません。参考までに、犬舎での生活リズムをご紹介します：

8：30	起床・排便・食餌
9：30～10：30	健康チェック・ブラッシング
10：30～12：30	午前の訓練・排便（1頭あたりの訓練時間は30分ほど）
12：30～13：30	休憩・排便
13：30～16：30	午後の訓練・排便
16：30	食餌
20：00	最終排便・消灯

注意！！

食事の1時間前後は激しい運動はさせないでください。胃捻転を引き起こす可能性があります。処置が遅れると死に至る怖い症状です。また、日中の気温が30度を超えるような日は、地表温

度が50度を超えている場合があります。熱射病になりますので、**真夏の日中の散歩や運動は控えましょう。**

トイレトレーニングについて

当協会の犬は仔犬のころから、「ワンツー」という掛け声で排便をするように訓練をされています。場所は、コンクリートが得意な犬もいれば、芝生や土が好きな犬もいます。**排便をしてほしい場所で成功させてよくほめてあげる事と、失敗しても叱らない事です。**しやすい時間は朝起きてすぐか、朝食後です。この時間を上手く使って、排便させたい場所で成功させましょう。

スキンシップについて

普段から犬の体をよく触ってあげることで、コミュニケーションが取りやすくなるうえ、病気の早期発見にもつながります。例えば、獣医さんの診察時や、爪切り・耳掃除の時にもより大人しくしていただけるようになります。

- 普段から、背中、口もと（マズル）、尻尾などを優しく声をかけながら触ってやります。はじめは背中をゆっくりさわり、慣れてきたら口もと、耳、足と徐々に先端のほうに行きます。
- 遊んだ後、落ち着かせる時に声をかけながらゆっくり触ります。

※触ったときにうなったり尻尾が下がっているような場合は、職員に相談してください。

※犬が食餌中は、触らずにそっとしてあげましょう。食事を邪魔されるのは誰でもいやなものです。小さなお子さんがいるご家庭では、犬をケージに入れて食事を与えるのも良いでしょう。

食事と体重管理について

犬たちは乳離れした時からドライフードを食べています。その理由は、ドライフードが優れた総合栄養食であること、入手しやすく量が計りやすいため、健康や体重の管理がしやすいことなどです。ラブラドルは食欲が超旺盛ですから、1回の食事をものすごく早くたいてしまいがちですが、これは食事の量が足りないからではありません。ラブラドルはとても太りやすい犬です。「少しくらい良いだろう」とフードを多めに与えたりおやつをあげたりしていると、あっという間に肥満になってしまいます。若いうちに太ってしまうと、中年・老年になってから関節に異常が出る事が多くなります。こうなってしまうとダイエットはかなり難しく、犬は悲惨な運命をたどります。

適正体重のラブラドルは、上から見た時に腰にはっきりとしたくびれがあって、横腹を軽く触っただけで肋骨が感じられるくらいにうっすらと脂肪がついています。一般的に見れば「やせている」と思われるくらいが、ラブにとっては良いのです。**実際にやせていても、太り気味よりはよっぽど良い、と覚えておいて下さい。**

基本的に、**協会がお渡しした時の犬の体重が適正体重です**（1歳を過ぎたラブラドルの骨格は、ほとんど成長する事はありません）。1ヶ月に1度は体重を計り、体重が正常範囲内にあるかどうか、確認して下さい。

体重管理は犬の寿命を大きく左右します。その体重を管理するのはあなたです。絶対に太らせないよう重ねてお願い申し上げます。

ご家族でルールをつくり、けじめを持って犬と接すれば、人も犬も楽しく生活できるはずです。今後とも宜しく願いいたします。

公益財団法人 東日本盲導犬協会
栃木県宇都宮市福岡町 1285 番地
TEL : 028-652-3883
FAX : 028-652-1417